

単元名 スキルアップ

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつことができる。
- (3) 互いの音や表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

02070101_001

【教材名】朝のリズム（歌唱） 手びょうしりレーで あそぼう（音楽づくり） (P.2～P.5)

【準備等】範唱CD，トライアングル，カスタネット，鈴，タンブリン

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 リズム打ちをしながら「朝のリズム」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「朝のリズム」を聴いて、曲の気分を感じ取る。 ★歌に 合わせて リズムで あそぼう <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かしたり、リズムを打ったりしながら歌う。 ○歌詞を唱える。 <ul style="list-style-type: none"> ・弾むように歌う。 ・手拍子を打って歌う。 ・後半部分の声の出し方を考え、明るい声で歌う。 ○歌詞の情景や気持ちを思い浮かべながら歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を読み、どのような場面の歌なのかを想像する。 ・言葉に気を付け、情景や気持ちを思い浮かべながら歌う。 ・リズムを感じ取り、朝の情景や気持ちに合った声で手拍子を入れながら歌う。 ○リズムにのって、ボディサウンドを入れながら歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「足踏み」「膝打ち」「手拍子」の確認をする。 ・ボディサウンドを入れながらリズムにのって歌う。 ・ボディサウンドを入れる場所を変えたり、増やしたりして歌う。 <p>2 楽しんで手拍子リレーをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全員で一斉に手拍子をする。 ★手びょうしりレーで あそぼう <ul style="list-style-type: none"> ・一斉に1回手拍子 ・教師の拍に合わせて手拍子 ・8回手拍子 ・なるべく大きな手拍子 ・なるべく小さな手拍子 など ○全員で輪になって手拍子リレーをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ打つ ・速さを変える ・間を開ける ・打つ回数を変える など ○全員で輪になって小物打楽器でリレーをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・音の長さを変える ・前の人の音が鳴り終わったら打つ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・範唱に合わせて体を動かしたり、リズムを打たせたりするとよい。 【評】互いの音や表現に興味をもって歌う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・旋律の付点のリズムに気を付けて歌わせる。 ・はじめは全員手拍子で取り組ませる。 【評】旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・P.2～P.3の挿絵を参考にしてもよい。 【評】曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとを関わらせて歌う活動を通して「知識」を評価する。 ・実際に「足踏み」「膝打ち」「手拍子」でリズムを打たせ、それぞれの動きと音を確かめさせる。 【共通事項】拍 リズム 【評】互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする活動を通して「技能」を評価する。 【共通事項】強弱 【評】曲想とリズムなど音楽の構造とを関わらせながら表現する活動を通して「知識」を評価する。 【共通事項】拍 速度 【評】拍に合わせてリズム打ちする活動を通して「技能」を評価する。 【評】リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽づくりをする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・活動条件として、手拍子リレーの際の条件も活用するとよい。 ・トライアングル，カスタネット，鈴，タンブリンを人数分用意しておき，児童に好きな楽器を選ばせる。 【評】互いの音や表現に興味をもって表現する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】